

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目

教科 科： 総合的な探究の時間 科 目： 総合的な探究の時間 単位数： 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：1 組：野間 2 組：宗京 3 組：坂本 4 組：西森 5 組：高橋 6 組：佐々木 7 組：豊田 8 組：仮屋園

使用教科書：（「人間と社会」）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】自己のあり方、生き方について考え、自らの進路を選択できる力を培う。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会の諸問題や自らの進路に関して、教科を超えて横断的・総合的に調査、研究、発表できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】集団の中で課題を設定し、整理・分析を通してその達成に向け、立案・企画・運営等を通して「自己のあり方」について、協働して課題解決する力を育む。

科目 総合的な探究の時間	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
自己のあり方、生き方について考え、自らの進路を選択できる力を培う。	現代社会の諸問題や自らの進路に関して、教科を超えて横断的・総合的に調査、研究、発表できる力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	集団の中で課題を設定し、整理・分析を通してその達成に向け、立案・企画・運営等を通して「自己のあり方」について、協働して課題解決する力を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【オリエンテーション】 ○3年間の「探究」の学習の流れを理解している。 ○「人間と社会」の教科書に示されている項目の中から自分の興味関心を意識している。	○教科書「人間と社会」はじめに・序章を使い、探究の3年間を示したプリントを見ながら、3年間の概略と学習目標を学ぶ。	【知識・技能】これからの学習の内容を理解しているか。 【思考・判断・表現】課題の発見とこれからの自分の学習内容について、自分なりの考えを持っているか。 【学びに向かう態度】探究の学習内容について、今後の見通しを持てているか。	○	○	○	1
	【防災訓練】 ○帰宅経路図・ハザードマップの意義を理解している。 ○「人間と社会」第12章「支え合う社会」13章「地域社会を築く」を参考に、災害時の自助・公序・共助について理解している。	○帰宅経路図・ハザードマップ作成、消防署外部講師による講話。 ○防災訓練に取り組み、地域の危険区域や避難方法など、地域との連携について考える。	【知識・技能】ハザードマップ内の情報理解・地域社会の構造を理解しているか。 【思考・判断・表現】使いやすいマップ作成・避難方法等を理解しているか。 【学びに向かう態度】振り返りシートの考えの形成。	○	○	○	2
	【桜守に関する講話・社会福祉協議会の講話】 ○「人間と社会」第12章「支え合う社会」13章「地域社会を築く」を参考に、市民活動や地域貢献の意義を理解している。	○くにとち桜守の活動家、社会福祉協議会の方の講話を聞き、活動内容や活動目的、高校生に求められていることを学ぶ。 ○教科書「人間と社会」の第8章～第18章を参考に、探究Ⅰの自身の課題設定を考える。	【知識・技能】活動内容を理解し、行動計画を作成できているか。 【思考・判断・表現】活動の目的と求められているものを理解しているか。 【学びに向かう態度】ワークシート内の課題に関わる概念を形成しているか。	○	○	○	1
	【桜守の活動①】 ○くにとちの街の保守活動の成り立ちを理解し、協力することができる。	○くにとち桜守の活動のを実際に体験し、考えたことをまとめる。	【知識・技能】事前の講話から自分の役割を理解しているか。 【思考・判断・表現】自分の課題設定について、大まかなイメージを持てているか。 【学びに向かう態度】自分の課題設定について、ある程度学習の見通しを持てているか。	○	○	○	3
	【探究Ⅰ 桜守 課題設定①】 ○桜守の活動を題材に、自身の視点から探究の課題設定について探すことができる。	○教科書「人間と社会」の項目を参考に、桜守の活動を実際に行ってみて、探究Ⅰの自身の課題設定を考える。					2
	【体験活動】 ○それぞれが選択し、校外での体験活動を行う。	○社会福祉協議会（立川・国立）の主催する活動や近隣の小学校・中学校の学習支援、福祉施設などで体験活動を行う。	【知識・技能】自分の役割を理解しているか。 【思考・判断・表現】自分の課題設定について、具体的イメージを持てているか。 【学びに向かう態度】自分の課題設定について、学習の見通しを持てているか。	○	○	○	4
2 学 期	【桜守の活動②】 ○くにとちの街の保守活動の成り立ちを理解し、協力することができる。	○くにとち桜守の活動のを実際に体験し、考えたことをまとめる。	【知識・技能】事前の講話から自分の役割を理解しているか。 【思考・判断・表現】自分の課題設定について、具体的イメージを持てているか。 【学びに向かう態度】自分の課題設定について、学習の見通しを持てているか。	○	○	○	3
	【探究Ⅰ 桜守 課題設定②】 ○桜守の活動を題材に、自身の視点から探究の課題設定について探すことができる。	○教科書「人間と社会」の第8章～第18章を参考に、二回の桜守の活動を振り返り、探究Ⅰの自身の課題設定を決定する。 ○教員、その他でアドバイスをおこなう。					2
	【進捗報告会①】 ○情報を収集し、整理分析することができる。	○自分の情報を整理分析し、考察していく。					2
	【キャリアガイダンス】 ○自分の興味関心を知り、深める。 ○学習方法の改善や、高校生活についての見通しを持つ。	○講師の話聞き、自身のキャリア形成を考える。 ○学習分野を知り、自分の興味関心を知る。	【知識・技能】上級学校の学習分野について知る。 【思考・判断・表現】自身の在り方生き方に結びつけ、学習分野を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の在り方生き方を考える。	○	○	○	2
	【進捗報告会②】 情報を収集し、整理分析し、相互に報告する準備をする。	○情報を整理分析し、まとめていき、発表できるよう準備していく。	【知識・技能】情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【思考・判断・表現】自分で課題を発見し、課題に関わる概念を形成し、意義や価値を理				2

3 学 期	【相互評価】 ○ここまで考えたことを相互に発表する。	○クラス内で作成したものをお互いに発表し、相互評価する。	解するようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に活動に取り組むとともに、互いの発表に耳を傾けることができる。	○	○	○	2
	【代表者発表会】 ○クラスの代表者の発表を聞き、学びを深め、個人のテーマ設定の参考にする。	○代表者はzoomを使って学年全体に発表する。					2
	【個人のテーマ仮設定】 ○自分個人の「探究Ⅲ」のテーマを仮設定する。	○自分個人の「探究」のテーマを仮設定する2年生最後にまとめる個人のテーマを思い描く。					1
	【探究Ⅱ 修学旅行事前学習①・理数研究①】 ○修学旅行または、理数研究について、自分の興味関心を考える。	○自身の興味関心を知り、修学旅行事前学習または、理数研究校の探究活動について、テーマを模索する。	【知識・技能】課題の発見に必要な知識・技能を使おうとしている。 【思考・判断・表現】新たな課題の発見に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の在り方生き方に結びつけ、課題を探究しようとしている。	○	○	○	1
	【職業人講話】 ○自分の職業や在り方生き方を考える	○夢ナビプログラム・本校卒業生のお話を聞き、将来を考える。	【知識・技能】職業分野について知る。 【思考・判断・表現】自身の在り方生き方に結びつけ、職業を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】自己の在り方生き方を考える。	○	○	○	2
	【競技カルタのお話（百人一首大会）】 ○日本の伝統文化について学ぶ①	○競技カルタ専門家の方のお話を聞き、大会を行う。	【知識・技能】百人一首の内容を知っている。 【思考・判断・表現】日本の文化としての百人一首について、理解し発信することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】伝統文化に親しもうとしている。	○	○	○	1
	【上級生探究発表会聴講】 ○上級生の発表を聞き、自己の探究に活かす。	○上級生の探究代表者の発表を聴く。 ○上級生の発表を参考に、自己の探究方法やこれからの探究内容を考察する。	【知識・技能】発表内容から自己の課題の発見のための知識・方法を得ているか。 【思考・判断・表現】発表を聞き、自己の課題設定についての参考とし、探究の見方・考え方の参考としている。 【学びに向かう態度】発表を聞き、自己との関わり方を問いを見いだそうとしているか。	○	○	○	2
							合計
							35

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数：

単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：1 組：中澤 2 組：金居 3 組：中野 4 組：村上 5 組：藤原 6 組：錦織 7 組：松永 8 組：太田尾

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】自己のあり方、生き方について考え、自らの進路を選択できる力を培う。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会の諸問題や自らの進路に関して、教科を超えて横断的・総合的に調査、研究、発表できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】集団の中で課題を設定し、整理・分析を通してその達成に向け、立案・企画・運営等を通して「自己のあり方」について、協働して課題解決する力を育む。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己のあり方、生き方について考え、自らの進路を選択できる力を培う。	現代社会の諸問題や自らの進路に関して、教科を超えて横断的・総合的に調査、研究、発表できる力を養う。	集団の中で課題を設定し、整理・分析を通してその達成に向け、立案・企画・運営等を通して「自己のあり方」について、協働して課題解決する力を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・自分の興味関心がある分野や、疑問に思っている事柄から、探究テーマを設定することができる。	・学問分野や、探究テーマ事例を紹介し、問いを出したり、分野を決めたりするための様式を示す。	【知識・技能】 事前調査ができているか 【思考・判断・表現】 他者にもわかりやすく、よく考えられた計画が記載できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 見通しをもって計画書を作成できているか	○	○	○	3
	・設定した探究課題をもとに、年間の探究計画を立てることができる。	・一人1台端末を活用させ、Teamsで計画書を作成、提出させる。関係する分野について、助言・指導をおこなう。					5
	【キャリアガイダンス】自身の進路について考え、見通しをもった学部研究、志望校研究をすることができる。	・進路指導主任が講話をおこない、進路資料の活用方法や、入試についての情報の調べ方を指導する。					1
	・探究計画をもとに、実験・観察・調査・作製活動を行うことができる。	・各教科の教員でアドバイスをおこなう。					6
2 学期	【大学研究】大学教員の講義映像を閲覧し、自分の興味がある分野を発見し、進路選択に繋げることができる。	・一人1台端末の活用を活用させ、マイナビの登録サイトで閲覧させる。	【知識・技能】 自分が把握したことを理解しているか 【思考・判断・表現】 自分が実施したことを論理的にわかりやすく説明できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己調整をして、粘り強く取り組んだ跡が見られるか	○	○	○	2
	探究計画をもとに、実験・観察・調査・作製活動を行うことができる。	・各教科の教員でアドバイスをおこなう。					5
	【選択説明会】自身の進学希望を踏まえて、選択科目を決めることができる。	・各教科の教員が選択科目の取り方を指導する。					1
	【キャリア講演会】本校卒業生の話を聞き、自身の学習方法の改善や、進路実現に向けた行動変容に繋げることができる。	・卒業生の実体験を聞く機会を提供し、自身のキャリア形成を考えさせる。					2
	自分が取り組んだ探究課題について、他者に分かりやすく発表できるよう準備し、発表することができる。他者の発表を聞き、建設的なコメントや質問をすることができる。	・クラス単位で相互発表を行う。					4
3 学期	【キャリアガイダンス】自身の志望校に向けた学習計画を設定することができる。		【知識・技能】 自分が把握したことを理解しているか 【思考・判断・表現】 自分が実施したことを論理的にわかりやすく説明できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己調整をして、粘り強く取り組んだ跡が見られるか	○	○	○	1
	【修学旅行】訪問する場所について事前学習や調査を行い、主体的に旅行計画を立てることができる。						3
	・自分が取り組んだ探究過程を他者が読んでもわかるように報告書にまとめることができる。 ・他者の発表を聞き、建設的なコメントや質問をすることができる。						2
							合計
							35

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	総合的な探究の時間		単位数	1	対象学年・組	三学年・必修
使用教科書 教材	なし		教科担当者		各担任	
教科・科目のねらい(目標) 自己のあり方、生き方について考え、自らの進路を選択できる力を培う。 現代社会の諸問題や自らの進路に関して、教科を超えて横断的・総合的に調査、研究、発表できる力を養う。 集団の中で課題を設定し、整理・分析を通してその達成に向け、立案・企画・運営等を通して「自己のあり方」について、協働して課題解決する力を育む。						
月	指 導 内 容	指 導 目 標			評価の観点方法	予定 時数
4	課題設定	ワークシートを利用して計画を立案し、文化祭のイメージを固める。			課題設定が明確になされたかを提出	2
5	実施準備	各自がクラス目標と自分の役割に基づいて活動する。			物等で評価する。 (思・態)	8
8	研究・調査・発表	自ら課題を見つけ、図書館・インターネット等で調査・研究し、自ら考える力を養う。人権・著作権・情報モラル等の視点を重視して実施方法、準備の分担、役割分担を検討し、公共の中で自己の在り方生き方を考える。			課題研究が進行しているか。協力体制が組織されているか。(知・思・態)	8
9	発表と考察	「総合」発表会を実施する。 計画及び準備にもとづき、各自の役割をふまえて発表を行う。計画に基づいて、話し合いや討議を通して、クラスの中に協力体制をつくる。学校全体に関わる企画・運営をクラスに十分伝達する。クラス内の自己の役割を十分に果たす。			計画に従って考察や発表ができたかについて、取組の姿勢や参加意欲、提出物等で評価する。(知・思・態)	6
10	反省・評価	学習活動全般を反省・考察したものを、各自あるいはグループでレポートやインターネットを通して発表する。年度当初に記載したワークシートに課題をまとめ、次年度への発展を図る。			学校全体に関わる企画・運営をクラスに十分伝達できたか。各自の役割が十分果たせたかについて計画書等を資料として評価する。 (知・思・態)	6
11	進路（キャリア） 講話	進路講演会まとめシート作成			レポート提出物等で評価する。	2
12		進学志望理由書等作成			(知・思)	2
1	個人研究	自己評価票を作成し記入する。 評価及びまとめ				1
						計 35